

**地方創生
関連事業実績シート
(No. 1 ~ 23)**

基本目標No.1	活発な産業づくりにより元気なまちを創生する。	分類	①チャレンジ(起業・創業・第2創業等)支援事業
施策・事業名	空き店舗等の有効活用		

【事業目的・概要】

空き店舗や空き地の積極的な活用により商工業の振興と街中の賑わいを創出する。

【事業内容 (P)】

- ① 空き店舗情報のデータベース化と情報発信
- ② 町民の需要に応じた起業者の誘致
- ③ 店舗改修、設備導入及び創業に係る支援（企業振興促進補助事業）
- ④ チャレンジショップの開設

【事業費 (D)】

企業振興促進支援事業補助金（空き店舗活用事業）

(単位:円)

事業年度	予算額	事業費 (実績)	地方創生推進交付金充当額
R2	0	0	
R3	0	0	
R4	0	0	
R5	0	0	
R6	0	0	
合計	0	0	0

【効果検証 (C)】

① 重要業績評価指標

指 標	事業年度	指標値 (R2～R6)	実績
空き店舗の活用件数	R2	/	0
	R3		0
	R4		0
	R5		2
	R6		4
	合計		5

② 関連施策・事業の実施状況（どのような取組をしたか具体的に記入）

・ホームページを活用した空き店舗情報のデータベース化と情報発信、商工会と連携した創業希望者に対する相談業務を実施。

③ 事業の成果及び評価（実績がない場合はその原因など）

・R6 旅館業 1件、飲食店 1件、スナック 2件

・R5 旧スナック跡地→スナック、旧焼肉店→焼肉店

・H30～R4 補助対象地域における実績はなし

→ 周知は行っているが、創業希望者がいない。なお、当該補助金の対象ではないが、スナック、美容室の2件が空き店舗を活用した事業をスタートさせている。

・H29実績…旧スナック跡→居酒屋

【今後必要な取組・方向性 (A)】

・今後もホームページ・チラシ等を活用して創業希望者に空き店舗情報の提供や商工会と連携し、各種相談業務を実施する。

・チャレンジショップ等の開設について検討し、創業しやすい環境整備を図る。

基本目標No.1	活発な産業づくりにより元気なまちを創生する。	分類	①チャレンジ(起業・創業・第2創業等)支援事業
施策・事業名	新商品の開発と販路拡大支援		

【事業目的・概要】

地場産品の魅力の増大や企業の新たな取組に対し支援を行う。

【事業内容 (P)】

- ① 地場産品情報の都市圏への発信とマッチングの推進
- ② 商品開発に係る支援 (企業振興促進補助事業)
- ③ 農商工連携による商品開発

【事業費 (D)】

①負担金補助及び交付金

- ・企業振興促進事業補助金 (新製品・新サービス研究開発に対する経費)
- ・中小企業者等販路拡大事業補助金 (食品展示商談会出展に対する経費)

(単位:円)

事業年度	予算額	事業費 (実績)	地方創生推進交付金充当額
R2	0	0	
R3	0	0	
R4	300,000	0	
R5	300,000	0	
R6	200,000	0	
合計	800,000	0	0

【効果検証 (C)】

① 重要業績評価指標

指 標	事業年度	指標値 (R2~R6)	実績
新規販路契約事業者数	R2	/	0
	R3		0
	R4		0
	R5		0
	R6		0
	合計		10

② 関連施策・事業の実施状況 (どのような取組をしたか具体的に記入)

- ・ホームページやチラシを活用した補助事業の周知、商工会と連携した相談業務を実施。
- ・補助事業…実績なし

③ 事業の成果及び評価 (実績がない場合はその原因など)

- ・R1~R6 実績なし
→周知は行っているが、希望者がいないため実績がない原因となっている。
- ・H30実績…企業振興促進事業補助金 (新製品・新サービス研究開発に対する経費) を活用 1社
- ・H29実績…中小企業者等販路拡大事業補助金 (食品展示商談会出展に対する経費) を活用 2社

【今後必要な取組・方向性 (A)】

- ・羽幌町中小企業等販路拡大事業補助金や、新製品開発・新サービス開発支援事業等を活用し、事業者自らの取り組みを支援する。

基本目標No.1	活発な産業づくりにより元気なまちを創生する。	分類	①チャレンジ(起業・創業・第2創業等)支援事業
施策・事業名	起業・経営支援		

【事業目的・概要】

若年層の起業意欲の促進と、企業経営者の積極的な経営施策に対し支援を行う。

【事業内容 (P)】

- ① 相談窓口の開設
- ② 定期的な起業セミナー等の開催
- ③ 起業を応援するための情報発信

【事業費 (D)】

- ①負担金補助及び交付金
創業応援セミナー事業（特定創業支援事業補助金）

(単位:円)

事業年度	予算額	事業費 (実績)	地方創生推進交付金充当額
R2	140,000	79,729	
R3	140,000	0	
R4	140,000	48,979	
R5	140,000	0	
R6	0	0	
合計	560,000	128,708	0

【効果検証 (C)】

① 重要業績評価指標

指 標	事業年度	指標値 (R2~R6)	実績
起業創業セミナー参加者	R2	/	59
	R3		0
	R4		59
	R5		0
	R6		0
	合計		50

② 関連施策・事業の実施状況 (どのような取組をしたか具体的に記入)

- ・商工会と連携した相談業務を実施。
- ・補助事業（特定創業支援事業補助金）…実績なし

③ 事業の成果及び評価 (実績がない場合はその原因など)

- ・R6 事業廃止
- ・R5 実績なし (講師及び高等学校との日程が合わず中止)
- ・R4 羽幌高校2年生 (59名) を対象に実施。
- ・R3 実績なし (新型コロナによる中止)
- ・R2 羽幌高校2年生 (59名) を対象に実施。

【今後必要な取組・方向性 (A)】

- ・商工会と連携した相談業務を実施。

基本目標No.1	活発な産業づくりにより元気なまちを創生する。	分類	①チャレンジ(起業・創業・第2創業等)支援事業
施策・事業名	6次産業化の推進		

【事業目的・概要】

地元で収穫又は水揚げされた地場産品の付加価値向上と効率的な出荷を可能とする加工、保管及び出荷に係るシステムを構築する。

【事業内容 (P)】

- ① 新技術（設備）の導入等による地場産品のブランド化
- ② 地産地消や産業間連携の推進支援

【事業費 (D)】

- ①エビ籠漁業者（設備投資、新製品開発）
- ②米・畑作農業者（設備投資）

(単位:円)

事業年度	予算額	事業費 (実績)	地方創生推進交付金充当額
R2	0	0	
R3	1,000,000	2,682,000	
R4	1,000,000	0	
R5	2,228,000	1,573,000	
R6	6,000,000	5,000,000	
合計	10,228,000	9,255,000	0

【効果検証 (C)】

① 重要業績評価指標

指 標	事業年度	指標値 (R2~R6)	実績
6次産業化取組件数	R2	/	0
	R3		1
	R4		0
	R5		1
	R6		1
	合計		3

② 関連施策・事業の実施状況（どのような取組をしたか具体的に記入）

・ホームページやチラシを活用した補助事業の周知、商工会と連携した相談業務を実施。

③ 事業の成果及び評価（実績がない場合はその原因など）

- ・R6 六次産業化促進事業補助金（設備投資分）の活用 1 事業者
- ・R5 六次産業化促進事業補助金（設備投資分）の活用 1 事業者
- ・R4 実績なし
- ・R3 六次産業化促進事業補助金（新製品開発分）の活用 1 社
- ・R2 実績なし

【今後必要な取組・方向性 (A)】

・ホームページやチラシ等により6次産業化助成制度を活用する事業者に対し周知し、相談業務等を充実させ、地域の特産品を活用した新商品の開発や販路拡大等を支援する。

基本目標No.1	活発な産業づくりにより元気なまちを創生する。	分類	②一次産業就業者等拡大事業
施策・事業名	農業従事者の創出		

【事業目的・概要】
新たな従事者の募集、受入、指導までを一括して行うシステムを構築する。

【事業内容（P）】
① 新規就農研修生の雇用と受入農家の確保
② 受入体制の整備

【事業費（D）】
実績なし

(単位:円)

事業年度	予算額	事業費（実績）	地方創生推進交付金充当額
R2	0	0	
R3	0	0	
R4	0	0	
R5	0	0	
R6	0	0	
合計	0	0	0

【効果検証（C）】
① 重要業績評価指標

指 標	事業年度	指標値（R2～R6）	実績
研修参加者数	R2		0
	R3		0
	R4		0
	R5		0
	R6		0
	合計		5

② 関連施策・事業の実施状況（どのような取組をしたか具体的に記入）
・農業担い手対策事業（臨時費）により、オロロン地区農業担い手確保対策協議会に参画し、各種支援制度に加え、新規就農者の確保に係る体制整備について協議検討を行っている。

③ 事業の成果及び評価（実績がない場合はその原因など）
新規就農者の体験学習や就農研修等は、オロロン地区農業担い手確保対策協議会（羽幌町、初山別村、遠別町）による支援対策事業をもとに進めていくこととなっている。

【今後必要な取組・方向性（A）】
・オロロン地区農業担い手確保対策協議会による制度をもとに、新規就農者支援対策に取り組んでいく。

基本目標No.1 活発な産業づくりにより元気なまちを創生する。 分類 ②一次産業就業者等拡大事業

施策・事業名 **1次産業後継者及び新規就業者等の育成**

【事業目的・概要】

1次産業に従事する若年労働力の育成と定着化により後継者等を確保する。

【事業内容（P）】

- ① 農地取得等にかかる支援（農業後継者対策事業、農業担い手対策事業）
- ② 資機材の整備等に係る支援（漁業新規就業者等育成事業）

【事業費（D）】

負担金補助及び交付金

- ・農業後継者育成事業、農業担い手対策事業
- ・漁業新規就業者等育成事業

(単位:円)

事業年度	予算額	事業費（実績）	地方創生推進交付金充当額
R2	3,450,000	1,954,102	
R3	1,250,000	637,128	
R4	5,237,000	4,204,000	
R5	7,750,000	6,517,000	
R6	10,000,000	4,836,000	
合計	27,687,000	18,148,230	0

【効果検証（C）】

① 重要業績評価指標

指 標	事業年度	指標値（R2～R6計）	実績
農水産業における後継者及び新規就業者	R2	/	1
	R3		6
	R4		5
	R5		0
	R6		1
	合計		20

② 関連施策・事業の実施状況（どのような取組をしたか具体的に記入）

○農業後継者育成事業

農業後継者の収量及び収益を確保し、定着の促進を図るため農地取得経費の一部を助成。

○農業担い手対策事業

オロロン地区農業担い手確保対策協議会において、農業の担い手を確保し、農業の振興発展を図るため担い手（新規参入、独立就農等）に対し、就農祝い金、進学支援、免許取得支援、規模拡大支援、住宅支援などの支援を実施。

○漁業新規就業者等育成事業

新規就業者等の育成を図るため、漁業に必要な免許取得及び漁船の買船や建造、漁業機器等の購入に関して交付するもの。また、漁業新規就業者の更なる確保のため、新たに着業後3年間の経営継続に対して支援金を支給する。

③ 事業の成果及び評価（実績がない場合はその原因など）

○農業後継者育成事業

助成事業の実施により就業者の維持及び農業経営の大規模化が図られ、遊休農地発生防止へと繋がっている。

(R2:3件3人分、R3:0件、R4:0件、R5:0件、R6:0件)

○農業担い手対策事業

支援実施により、担い手の定着及び就農意欲の向上に繋がっている。

(就農祝い金贈呈者 R2:0人、R3:5人、R4:2人、R5:0人、R6:1人)

○漁業新規就業者等育成事業

経営体から乗組員への事業継承、また、大型漁船の乗組員からの独立などを促すものとして効果が得られている。高齢化が進む就業者層の解消に向けた有効策として不可欠である。(R2:1件、R3:1件、R4:3件、R5:0件、R6:0件)

【今後必要な取組・方向性（A）】

・オロロン地区農業担い手確保対策協議会における農業担い手支援対策事業により進めていく。

・引き続き、新規漁業者に必要な免許取得、漁船、漁業機器の購入経費の一部を補助することで負担軽減を進め、就業者の定着を図っていき、着業後3年間の経営継続に対して支援金を支給することで新たな漁業就業者へ支援していく。

基本目標No.1	活発な産業づくりにより元気なまちを創生する。	分類	③雇用環境支援事業
施策・事業名	事業承継と雇用のマッチング		

【事業目的・概要】
働きたい人と働く人を必要とする町内企業等のマッチングを図る。

【事業内容（P）】
① 従業員（継承者）を必要とする企業等と就労を希望する方の情報集約とマッチング

【事業費（D）】
羽幌町中小企業持続化支援事業補助金
中小企業者等が今後収益の増加が見込める投資や、事業承継等に係る設備投資経費（設備の導入・更新、店舗内装改修等）に対し補助するもの。 (単位:円)

事業年度	予算額	事業費（実績）	地方創生推進交付金充当額
R2	1,000,000	0	
R3	1,000,000	0	
R4	1,000,000	0	
R5	1,000,000	0	
R6	1,000,000	0	
合計	5,000,000	0	0

【効果検証（C）】
① 重要業績評価指標

指標	事業年度	指標値（R2～R6）	実績
マッチング件（店舗）数	R2	/	0
	R3		0
	R4		0
	R5		0
	R6		0
	合計		5

② 関連施策・事業の実施状況（どのような取組をしたか具体的に記入）
 ・ホームページやチラシを活用した補助事業の周知を実施。
 ・補助事業…実績なし

③ 事業の成果及び評価（実績がない場合はその原因など）
 ・R6 羽幌町中小企業持続化支援事業補助金の活用（収益の増加分） 2社
 ・R4～R5 実績なし →周知は行っているが、希望者がいないため実績がない原因となっている。
 ・R3 羽幌町中小企業持続化支援事業補助金の活用（収益の増加分） 2社
 ・R2 羽幌町中小企業持続化支援事業補助金の活用（収益の増加分） 1社

【今後必要な取組・方向性（A）】
 ・羽幌町中小企業持続化支援事業補助制度の周知について、商工会等と連携し、周知を図る。
 ・羽幌町雇用促進助成制度や各種助成制度の情報提供を行い、町内企業等のマッチングを図る。

基本目標No.1 活発な産業づくりにより元気なまちを創生する。 分類 ③雇用環境支援事業

施策・事業名 **企業誘致及び異業種間連携**

【事業目的・概要】

本町の環境に適した企業の誘致と本町の地場産品や取組に関心のある企業等との連携事業を展開する。

【事業内容（P）】

- ① 工場等の立地に係る支援（企業振興促進事業）
- ② 民間企業や各種学校等との連携による新たな雇用の創出
- ③ 都市圏企業に対するテレワーク意向調査及び受け入れ体制の整備

【事業費（D）】

- ① 企業振興促進事業
- ② 企業等連携事業

(単位:円)

事業年度	予算額	事業費（実績）	地方創生推進交付金充当額
R2	11,315,000	10,172,750	
R3	5,775,000	5,455,225	
R4	5,684,000	170,737	
R5	5,648,000	5,099,153	
R6	23,477,000	22,826,178	
合計	51,899,000	43,724,043	0

【効果検証（C）】

① 重要業績評価指標

指 標	事業年度	指標値（R2～R6計）	実績
誘致する企業等の数	R2	1	0
	R3		0
	R4		0
	R5		0
	R6		1
	合計		1

② 関連施策・事業の実施状況（どのような取組をしたか具体的に記入）

【札幌ベルエポック製菓調理専門学校との連携】

- ・校内での授業（調理実習）や学内レストランへの食材提供（甘えび、タコ、米など）
- ・研修旅行で2学年の製菓調理科生徒、引率者22名を受入れ。1泊2日の行程で町内の生産現場や加工場での体験学習を実施

【日本生命保険相互会社旭川支社との連携】

- ・事業実施に向けた協議、がん検診に関するアンケートの集計結果の情報共有
- 【企業振興・企業誘致】・HPやチラシを活用した補助事業の周知、商工会と連携した相談業務を実施。
- ・企業誘致に関する補助事業…R6 6件（既存事業者への補助）

③ 事業の成果及び評価（実績がない場合はその原因など）

【札幌ベルエポック製菓調理専門学校との連携】

体験学習では、小笠原漁業部での全体研修のほか、水産加工場など計2事業所での個別研修を実施。加工や収穫などを自らの手で体験し、生産者のこだわりや努力、苦勞が感じられた事業となった。

【日本生命保険相互会社旭川支社との連携】

事業実施に向けた協議で、警察署と連携した子どもの見守りパトロールやふるさと納税PRイベントの開催、スポーツ教室の開催などが検討されたが、いずれも今年度実施には至らなかった。

【企業振興・企業誘致】

- R6 既存事業者への補助6件（企業誘致件数1件）
- R5 既存事業者への補助2件（企業誘致件数0件）→周知は行っているが、進出希望事業者がいないため、実績なし。

【今後必要な取組・方向性（A）】

- ・実際に羽幌を訪れることで自然の豊かさや生産者の生の声を伝えられるため、研修旅行の受入れは継続して取り組んでいく。ただ受入先となる事業所が恒常化しているため、新たな業種や受入可能な生産現場等の拡充に努めるほか、専門学校の系列校（美容等）の分野での交流の可能性も探していきたい。
- ・令和2年7月に包括連携協定を締結した第一生命保険㈱や日本生命保険相互会社との連携を深め、地域に貢献できる具体的な取組実現を目指す。
- ・ホームページやチラシ等により企業振興促進助成制度を周知し、都市部の企業の誘致を図る。

基本目標No.1	活発な産業づくりにより元気なまちを創生する。	分類	③雇用環境支援事業
施策・事業名	雇用機会の拡充		

【事業目的・概要】 既存企業における新規及び正規雇用を拡大する。			
【事業内容 (P)】 ① 常用パート及び新規雇用に係る支援の継続と支援対象者（障がい者）の拡大（雇用促進助成事業）			
【事業費 (D)】 ①負担金補助及び交付金 ・補助金交付対象数及び人数 10社16人			
(単位:円)			
事業年度	予算額	事業費 (実績)	地方創生推進交付金充当額
R2	6,480,000	5,760,000	
R3	6,840,000	5,520,000	
R4	7,080,000	7,080,000	
R5	6,120,000	5,760,000	
R6	6,000,000	6,000,000	
合計	32,520,000	30,120,000	0
【効果検証 (C)】 ① 重要業績評価指標			
指標	事業年度	指標値	実績
新規雇用拡充数	R2		7
	R3		4
	R4		4
	R5		5
	R6		20
② 関連施策・事業の実施状況（どのような取組をしたか具体的に記入） ・ホームページやチラシを活用した補助事業の周知、商工会と連携した相談業務を実施。			
③ 事業の成果及び評価（実績がない場合はその原因など） ・新規雇用を促す制度として企業に周知等が浸透し、定着してきており、実績から一定の効果が生まれている状況にある。 ・令和2年度から新卒者の助成額を増額したので、新卒者の新たな雇用創出を期待したい。			
【今後必要な取組・方向性 (A)】 令和2年度から新卒者を雇用した場合の助成額を増額したので、社宅建築促進支援事業等の活用と併せて、雇用機会の拡大及び雇用環境の充実を図る。			

基本目標No.2 多くの人が集い魅力を感じられるまちを創生する。 分類 ①居住拠点整備事業

施策・事業名	既存資源の活用
--------	----------------

【事業目的・概要】

活用可能な財産を居住拠点及びその資源として有効に活用する。

【事業内容（P）】

- ① 公共施設等解体跡地の宅地としての売却
- ② 空き家対策計画の推進（空き家バンクの運営）
- ③ 民間賃貸住宅情報の提供
- ④ サテライトオフィスへの活用

【事業費（D）】

- ・空き家バンクの運営：ゼロ予算
- ・民間賃貸住宅情報の提供：ゼロ予算
- ・空き家対策補助金（改修分）

(単位:円)

事業年度	予算額	事業費（実績）	地方創生推進交付金充当額
R2	2,500,000	1,750,000	
R3	2,500,000	3,250,000	
R4	2,500,000	3,000,000	
R5	2,500,000	944,000	
R6	2,500,000	1,000,000	
合計	12,500,000	9,944,000	0

【効果検証（C）】

① 重要業績評価指標

指 標	事業年度	指標値（R2～R6）	実績
空き家利用戸数	R2	30	10
	R3		11
	R4		14
	R5		13
	R6		5
	合計		53

② 関連施策・事業の実施状況（どのような取組をしたか具体的に記入）

- ・平成26年度より実施した空き家バンクに加え、平成28年度より空き家対策補助金（改修又は解体）が事業化された。
- ・空き家バンクによる情報発信と、空き家対策補助金による負担軽減を空き家対策の両輪として事業展開したことにより、空き家を購入または賃貸により活用しようとする動機づけにつながった。

③ 事業の成果及び評価（実績がない場合はその原因など）

- ・令和6年度中の空き家バンク契約成立件数3件、空き家対策補助金による住宅改修件数2件

【今後必要な取組・方向性（A）】

- ・毎年度の固定資産税納入通知書を交付する際、空き家バンク制度及び空き家対策補助金の制度概要について周知し、空き家の状態が悪くならないうちに利活用が進むよう事業を展開する。
- ・公共施設の解体跡地で宅地として利用可能なものについては、積極的に売り払いを行っていく。

基本目標No.2 多くの人が集い魅力を感じられるまちを創生する。 分類 ①居住拠点整備事業

施策・事業名	新たな住宅の整備
--------	-----------------

【事業目的・概要】

公営住宅の建設や单身及び世帯向けなど需要に応じた集合住宅の建設を促進する。

【事業内容 (P)】

- ① 公営住宅の計画的な建設
- ② 集合住宅の建設に係る支援（民間賃貸住宅建設助成事業）

【事業費 (D)】

①負担金補助及び交付金

- ・羽幌町民間賃貸集合住宅建設促進助成金（R2年度にて終了）
- ・公営住宅建設工事

(単位:円)

事業年度	予算額	事業費 (実績)	地方創生推進交付金充当額
R2	103,000,000	99,913,000	
R3	112,633,000	97,097,000	
R4	121,777,000	121,440,114	
R5	111,859,000	111,302,200	
R6	59,532,000	59,427,300	
合計	508,801,000	489,179,614	0

【効果検証 (C)】

① 重要業績評価指標

指 標	事業年度	指標値 (R2~R6)	実績
民間賃貸住宅建設戸数	R2	/	0
	R3		0
	R4		1
	R5		0
	R6		0
	合計		30

② 関連施策・事業の実施状況（どのような取組をしたか具体的に記入）

【公営住宅建設】

・公営住宅の建設については、国庫交付金の予算に応じて計画的に整備している。

【民間賃貸集合住宅建設促進助成】令和2年度をもって事業終了。（制度廃止）

※民間賃貸住宅整備実績

平成27年度～令和元年度 計 4棟 18戸に対し助成

令和2年度 助成応募なし（以降事業終了）

③ 事業の成果及び評価（実績がない場合はその原因など）

【公営住宅建設】

高齢单身世帯や子育て世帯、若年世帯などの多様な世帯が必要としている規模や条件の住戸を適切に供給することにより、安心して暮らせる住環境を整備している。

【民間賃貸集合住宅建設促進助成】

助成金の応募状況や工事施工業者への需要アンケート結果を踏まえ、必要性がなくなったと判断。

【今後必要な取組・方向性 (A)】

【公営住宅建設】

公営住宅については今後も長寿命化計画に基づき整備していく。

【民間賃貸集合住宅建設促進助成】

事業終了当時、「必要に応じて再開の検討を行う」こととしており、現在の住宅需要などの調査の必要性などを検討していく。なお、人口減少や恒例化を背景に様々な産業分野において担い手不足が深刻化している。全国的にも移住者の定着促進など、域外からの人材確保に向いているため、多角的な視点で考えていく必要がある。

基本目標No.2 多くの人が集い魅力を感じられるまちを創生する。 分類 ②資源活用事業

施策・事業名 **魅力ある地域の創出**

【事業目的・概要】

本町が有する豊かな自然、豊富な食材、地域特性を売りに、知名度向上と交流人口の拡大を図る。

【事業内容（P）】

- ① 観光施設（自然公園（天売島・焼尻島）、道の駅（はぼろ温泉、バラ園））等の整備と適正管理
- ② 地場産品（甘えび、うに、めん羊等）や観光資源を活用した観光交流イベントの実施
- ③ 日本唯一の海鳥専門施設「北海道海鳥センター」を核とした自然環境に特化した研究事業等の実施
- ④ 焼尻めん羊牧場の安定経営による地域産業としての持続
- ⑤ 中部3町村による関係人口創出連携事業の推進

【事業費（D）】

- ①負担金補助及び交付金 羽幌町観光協会補助金・その他（支部事業、ウニまつり、めん羊まつり 等）
- ②需用費 ・観光施設等の維持に係る修繕料
- ③役務費
- ④工事請負費 ・観光施設等の維持に係る工事費（交流センター整備 等）
- ⑤委託料 ・いきいき交流センター指定管理料
- ⑥需用費ほか
- ⑦旅費

(単位:円)

事業年度	予算額	事業費（実績）	地方創生推進交付金充当額
R2	75,339,000	55,684,977	
R3	59,728,000	49,938,581	
R4	112,960,000	106,458,469	
R5	78,355,000	71,147,982	
R6	84,077,000	79,190,545	
合計	410,459,000	362,420,554	0

【効果検証（C）】

① 重要業績評価指標

指 標	事業年度	指標値（R2～R6平均）	実績
イベント満足度（%）	R2	80	-
	R3		-
	R4		82
	R5		83
	R6		84.0
	合計		83.0

② 関連施策・事業の実施状況（どのような取組をしたか具体的に記入）

【はぼろ甘エビまつり事業】甘エビの不漁によりイベント未開催。

【めん羊まつり】牧場の民間移行の影響で中止。

【天売ウニまつり】ウニ漁の不漁によりイベント中止。花火の打上のみ実施。

【観光施設等】観光客が快適に観光・滞在できるよう施設整備を行い、施設の維持に努めている。

【焼尻めん羊牧場】令和5年度に町営牧場としては閉鎖し、以降、運営を民間事業者へ継承している。

【北海道海鳥センター】

- ・自然観察会4回実施、自然環境講座はオンライン併用で1回実施した。
- ・多くの町民が参加できるイベントとして「海鳥フェスティバル」を実施した。
- ・学校教育との連携として、羽幌高校1年生の総合探求の授業を延べ約15時間実施した。

【中部3町村による関係人口創出連携事業】

・3町村の共通の課題である地域おこし協力隊を切り口とした事業実施のため、10月に東京都で開催した「北海道移住・交流フェア2024」へ2日間出展。

・各市町村で不足している地域おこし協力隊の募集情報をはじめ、移住定住に向けた地域PRを行った

③ 事業の成果及び評価（実績がない場合はその原因など）

【はぼろ甘エビまつり事業】

R4：甘えびまつりスタンプラリー 応募者815人 応募総枚数1,062枚、グルメフォトコンテスト 投稿数90件、R5～R6：実施なし

【めん羊フェア】 島っ子食堂124食 新沼食堂40食 布目旅館43食（R4）

島っ子食堂400食、新沼食堂48食、布目旅館72食（R5）

島っ子食堂150食、新沼食堂60食、布目旅館43食（R6）

【焼尻めん羊まつり】 来場者 400名（R5）、実施なし（R6）

【天売ウニフェア】 中止により実績なし

【焼尻めん羊牧場】

焼尻めん羊牧場は、民間事業者へ継承されるまでの間安定的な羊肉の供給に向けた体制づくりに取り組んでいた。

（出荷数 R2：51頭、R3：54頭、R4：84頭、R5：180頭）

酪農学園大学連携事業は、令和5年度中に町営牧場として閉鎖し、民間事業者へ継承したことから実績無し。

牧場運営は民間事業者へ継承されたが、民間事業者への輸送費支援は国の離島活性化交付金を活用し、実施。

【北海道海鳥センター】

- ・自然観察会や講座等の行事は参加者が多く、アンケート等による満足度は高い。
- ・学校教育と連携をすることにより、将来を担う環境人材の育成を進めることができています。

【中部3町村による関係人口創出連携事業】

・相談実績は2日間で合計17組、うちアンケート回答数15組だった。また、3町村全てのブースにてアンケートを回答した方へ配布するオリジナルエコバックは10組に進呈。

・30～50代の現役世代が多く、「住まい」と「仕事」を重要視しているなど、移住関連のトレンドや傾向、ニーズを把握できた。

【今後必要な取組・方向性（A）】

・魅力ある観光施設を目指し、適正に維持管理していくほか、特産品や観光資源を活用した観光交流イベントを実施していく。

・既存の行事を継続して開催しつつも、新しい行事を企画・実施することにより、より多くの参加者を得る。

・焼尻めん羊牧場については、羊肉の安定供給のため、国の離島活性化交付金を継続して活用し、民間事業者への輸送費支援を行う。

基本目標No.2 多くの人が集い魅力を感じられるまちを創生する。 分類 ②資源活用事業

施策・事業名 情報発信と宣伝普及活動の強化

【事業目的・概要】

宿泊者等の町内滞在者及び町外への情報発信に必要な素材の充実と積極的なPR活動を実施する。

【事業内容（P）】

- ① 様々な媒体や機会を活用したPR活動の実施
- ② 外国人をターゲットにした戦略的プロモーションの展開によるインバウンド対策
- ③ 広域による都市圏や他地域との交流事業の推進

【事業費（D）】

- | | |
|--------------|-----------------|
| ① 報償費 | ・ P R 用試供品等 |
| ② 旅費 | ・ 事業参加旅費等 |
| ③ 需用費 | ・ 消耗品費、印刷製本費 |
| ④ 役務費 | ・ 通信運搬費、手数料、保険料 |
| ⑤ 委託料 | ・ 地域魅力発信業務委託料 |
| ⑥ 使用料及び賃借料 | ・ 使用料及び借上料等 |
| ⑦ 負担金補助及び交付金 | ・ 特産品販売PR事業補助金 |

(単位:円)

事業年度	予算額	事業費（実績）	地方創生推進交付金充当額
R2	3,015,000	403,000	
R3	2,623,000	226,550	
R4	2,404,000	1,340,470	
R5	4,787,000	3,832,420	
R6	9,615,000	7,965,230	
合計	22,444,000	13,767,670	0

【効果検証（C）】

① 重要業績評価指標

指 標	事業年度	指標値	実績
対外的な宣伝事業実施回数	R2		1
	R3		1
	R4		13
	R5		19
	R6		12

② 関連施策・事業の実施状況（どのような取組をしたか具体的に記入）

【商工観光課】 道内主要都市及び道外にて地域魅力PR事業を実施。

（R5）観光誘客推進事業実績（市町村PR・物販）道内17回 道外2回

（R6）観光誘客推進事業実績（市町村PR・物販）道内11回 道外2回

離島観光振興事業（WEBプロモーション） 広告表示回数25,388万回、リーチ数850万人

【地域振興課】

○町の特産品PR、ふるさと納税増加を図るため様々な取組を実施

- ・ 寄附サイト上での検索候補表示サービスを実施（2キーワード）
- ・ 年末に向けターゲットを絞ったショート動画WEB広告のほか、寄付サイト内の検索連動型広告を実施
- ・ ふるさと納税特設サイトの一部更新ほか、リピーター獲得のため、メールマガジンによる情報発信
- ・ 「君に届け」と連携したクラウドファンディング型ふるさと納税プロジェクトを実施
- ・ 食の魅力発信パンフレットを制作し、道内外の道の駅等に設置
- ・ Instagramを活用し、写真や動画等による返礼品の紹介、地域魅力配信
- ・ 特産品PR等を目的としてシティプロモーションを実施（町内1件・管内1件・管外（道内）1件）
- ・ 新商品開発等支援事業補助金の交付（3事業者）

③ 事業の成果及び評価（実績がない場合はその原因など）

【商工観光課】

令和6年度は、13回の誘客イベントに参加。通行人へのパンフレット配布のほか、SNSフォローキャンペーンなどを実施し、継続性を意識した活動に努めた。また、天売島焼尻島の認知度向上のため、WEB広告を配信し、多くの方にPRすることができた。

【地域振興課】

・ショート動画によるWEB広告の表示回数は8月から12月の5カ月間で約290万回。クリック数は11,808件でクリック率0.41%。ディスプレイ広告の平均クリック率が0.6%であり、配信パフォーマンスはやや下振れ、検索候補表示サービスについても登録キーワード経由の年間アクセス数は404回だったため、1クリック約650円の費用対効果となり、期待にそぐわない結果となった。

・リピーター対策として実施したメルマガ配信では、全30回のメルマガを配信し、前年比104%となるリピーター数を獲得し、メルマガから直接的な購入につながったかは検証できないが、一定の効果があつたと判断できる。

・上記から、リピーター対策は継続し、不特定多数の新規寄付者に対する広告はより効果的で結果につながりやすい別の施策を検討する必要がある。

【今後必要な取組・方向性（A）】

・観光協会や羽幌沿海フェリー等の観光事業者と連携し、札幌圏や首都圏での観光誘客プロモーションを継続して展開するほか、インターネットなどを活用し、より効果的な手法を取り入れながら実践していく。また、観光客の関係人口化も意識した取り組みを実施する。

・ふるさと納税の寄付額について、まずは羽幌町を知ってもらわないことには増加には繋がっていかない。引き続き、さまざまな媒体や機会を捉えて効果的なシティプロモーションに取り組んでいく。

対外的な宣伝の場面で来場者等に配布するものは観光パンフレットやオロ坊グッズが主だった。羽幌町が優位性をもつ食について知ってもらえる媒体がなかったため、特産品や地域産業に焦点を当てた冊子を作成する。

・海老名市での本町特産品等のPRのほか、海老名市民の当町イベントへの参加など相互の交流による地域活性化を図る。

・ふるさと納税による寄付額を増加させるためには、羽幌町の知名度向上が不可欠であることから、今後も各種媒体やイベントの機会を活用し、効果的なシティプロモーションを展開していく。また、ふるさと納税サイトの運営事業者が主催するリアルイベント等へも積極的に参加し、町の魅力を直接発信することで、新たな寄付者の獲得を図る。

・リアルイベントなどの対外的なPRの場では、パンフレットの配布に加え、より視覚的かつ印象的に来場者へアプローチできる媒体として「動画」を活用することが効果的。そのため、羽幌町の魅力を伝える動画コンテンツを新たに制作し、プロモーションツールとして幅広く展開する。

多くの人が集い魅力を感じられるまちを創生する。

分類

③人材招聘事業

施策・事業名

地域おこし協力隊事業

【事業目的・概要】

都市圏等他地域から本町で必要とされる新たな人材を招聘する。

【事業内容 (P)】

① 地域おこし協力隊事業

【事業費 (D)】

①報酬	2,274,792	協力隊報酬
②旅費	13,440	協力隊面接等職員旅費
③需用費	0	協力隊に係る消耗品・燃料費・住宅改修費等
④役務費	129,650	通信運搬費・募集広告料・公用車保険料等
⑤委託料	0	業務コーディネーター
⑥使用料及び賃借料	0	公用車借上料・面接時会場使用料等
⑦原材料費	0	住宅改修用原材料
⑧備品購入費	0	協力隊活動用車両
⑧負担金及び交付金	1,146,320	協力隊活動助成金
⑨公課費	6,600	協力隊活動用車両重量税

(単位:円)

事業年度	予算額	事業費 (実績)	地方創生推進交付金充当額
R2	9,464,260	465,242	
R3	8,238,260	2,503,887	
R4	10,551,308	6,718,437	
R5	9,546,593	7,918,627	
R6	4,693,792	3,570,802	
合計	42,494,213	21,176,995	0

関係課

地域、町民

【効果検証 (C)】

① 重要業績評価指標

指標	事業年度	指標値	実績
協力隊員定住率 (%)	R2		
	R3		
	R4		50
	R5		50
	R6	60	42

② 関連施策・事業の実施状況 (どのような取組をしたか具体的に記入)

【町民課】

・羽幌シーバードフレンドリー認証制度の推進担当として、制度設計の変更に係る打合せやグループワーク等による意見交換会の開催。

・羽幌高校との教育の連携を担当し、年間15時間程度の授業を実施した。

【地域振興課】

・国の施策や道の取組などを学ぶ説明会に参加したほか、留萌振興局主催の研修会に参加し、制度の理解や他市町村の担当者及び協力隊員の方と交流を深めた。

・応募者や問合せ数の増加及びより多くの人へ周知できるよう募集情報の掲載先を新たに増やし、天売高校生徒募集業務の募集継続や、新規でシティプロモーション業務、地域魅力発信業務、スポーツ振興等に関する業務に係る募集を行い、ZOOMを使用したオンライン説明会を開催した。

③ 事業の成果及び評価（実績がない場合はその原因など）

【町民課】

- ・シーバードフレンドリー認証制度は漁業と農業の新認証基準が完成し、2件の新規認証取得申請を受けた。
- ・羽幌高校との連携授業により、環境問題に関心を持つ生徒が増えている。

【地域振興課】

自然環境保全等推進業務：1名採用（R6.4.1～）

天売高校生生徒募集業務：2名応募、採用には至らず

DX推進員：R6.12まで募集継続するも応募者及び問合せ無し、募集終了

シティプロモーション業務：1名応募、不採用

地域魅力発信業務：1名応募、二次選考辞退

スポーツ振興等に関する業務：2名応募、うち1名辞退、1名採用内定

募集については、町HPや公式SNS、移住交流推進機構、北海道移住交流促進協議会、北海道SNSに掲載したほか、各ニュースサイトへの情報発信を行った。

【今後必要な取組・方向性（A）】

- ・今後も継続した活動の実施により、入学生徒の確保と受入体制の構築に努めていく。
- ・SBF認証制度については、ふるさと納税ガバメントクラウドファンディングと連携した応援人口獲得のための取り組みを予定。
- ・羽幌高校との連携授業については、興味を持った生徒がより深く学ぶことや研究をするための支援方法を検討。
- ・本町においても人口減少による過疎化が進んでおり、若い世代などの人材流出が深刻化している。町外の人材を呼び込み、定住・定着を図ることは地域活性化の一助にもなることから、地域おこし協力隊の取組は有効な方策と考えるが、現状無償で実施している募集だけではなく、有償広告の活用なども検討しながら豊かな人材確保に努めたい。

基本目標No.3	子育てのしやすい優しいまちを創出する。	分類	①シングルマザー支援事業
施策・事業名	シングルマザーの転入誘致		

【事業目的・概要】

子育てしやすい環境を創出し、シングルマザーの転入を促進するための受け皿を構築する。

【事業内容 (P)】

- ① 受入窓口の維持、連携
- ② 雇用、住居、保育等のマッチング
- ③ 受入シングルマザーに対するアフターケア

【事業費 (D)】

シングルペアレント移住雇用マッチング事業PR事業補助金 0円 (実績なし)

(単位:円)

事業年度	予算額	事業費 (実績)	地方創生推進交付金充当額
R2	702,000	0	
R3	753,000	110,000	
R4	754,000	110,000	
R5	755,000	0	
R6	0	0	
合計	2,964,000	220,000	0

【効果検証 (C)】

① 重要業績評価指標

指 標	事業年度	指標値	実績
受入件数	R2	5	0
	R3		0
	R4		0
	R5		0
	R6		0

② 関連施策・事業の実施状況 (どのような取組をしたか具体的に記入)

事業実施から7年が経過したため、今までの実績を踏まえ受入体制の見直しを行うとともに、R3及びR4にコロナ禍におけるPRとしてシングルマザー支援協会ホームページにおいて事業紹介を行ったが、応募が無かった。このため、理事者と協議し、R5はシングルマザー支援協会の事業紹介を行わないこととし、R6から事業廃止。

③ 事業の成果及び評価 (実績がない場合はその原因など)

R6は町への問い合わせが0件。

【今後必要な取組・方向性 (A)】

他の移住制度の活用する。

基本目標No.3 子育てのしやすい優しいまちを創出する。

分類 ②子ども・子育て支援拡充事業

施策・事業名 出産までの支援

【事業目的・概要】

子どもをつくりやすい環境づくりを促進する。

【事業内容（P）】

- ① 妊娠（不妊治療含む）、出産に係る費用及び精神的支援
- ② 出産祝い品の贈呈

【事業費（D）】

- | | |
|---------------------------|----------------|
| ①妊産婦安心出産支援費、妊婦・乳幼児健康診査扶助費 | 1,886,385円 |
| ②新生児「夢のフトン」等プレゼント事業 | 217,810円 |
| ③出産・子育て応援交付金事業 | 1,733,141円 |
| ④不妊治療費等助成事業 | 57,000円 (単位:円) |

事業年度	予算額	事業費（実績）	地方創生推進交付金充当額
R2	5,051,000	4,530,377	0
R3	5,775,000	3,815,230	0
R4	5,559,000	3,203,857	0
R5	8,876,000	6,096,581	0
R6	9,778,000	3,894,336	0
合計	35,039,000	21,540,381	0

【効果検証（C）】

① 重要業績評価指標

指 標	事業年度	指標値	実績
合計特殊出生率（%）	R2	1.66	1.415
	R3		1.21
	R4		0.86
	R5		0.770
	R6		0.75

② 関連施策・事業の実施状況（どのような取組をしたか具体的に記入）

- ・保健師等による相談業務
- ・妊産婦健診や出産時にかかる交通費、宿泊費を助成する
- ・妊婦の健診・出産医療機関等の情報を消防署へ提供し、妊婦の救急搬送を迅速に行う
- ・不妊治療または不育治療を受けている夫婦に対し、治療に要する費用の一部を助成する
- ・新生児に対するフトン、マットの贈呈。
- ・R5から妊婦及び養育者に対し出産・子育て応援ギフト（妊娠時5万円、出生児童1人あたり5万円）を支給。

③ 事業の成果及び評価（実績がない場合はその原因など）

- ・保健師等による相談業務により、妊産婦の不安解消となり、安心安全な出産へと導いている。
- ・妊産婦健診や出産時にかかる交通費、宿泊費を助成することにより、経済的な負担軽減が図られている。（12人208,335円）
- ・妊婦の同意の下、妊婦の救急搬送を迅速に行うための体制が整備されている。
- ・不妊症または不育症で悩む夫婦の経済的負担の軽減及び少子化対策を促進（1人 57,000円）
- ・申請時に対するフトン・マットの贈呈は、子育て世帯へのプレゼントとして認識され喜ばれている。令和2年度から2人目以降の出産の場合はマットも選択できるようにしている。（配布数：出生児13人中13人に配布（うちフトン9組、マット4組）

【今後必要な取組・方向性（A）】

- ・当町には出産可能な産科医療機関が無いことから、今後も継続して妊産婦の健診、出産に要する経費に対する助成を継続して実施する。
- ・新生児に対するフトン・マットの贈呈は、町から子育てをする親へのプレゼントとして認識されており、経産婦の多くはマットを選択している。また当初フトンを持っている事を理由に受取を拒否された方も、マットを見ていただくと受取希望に変わるなど、喜ばれている。

基本目標No.3	子育てのしやすい優しいまちを創出する。	分類	②子ども・子育て支援拡充事業
施策・事業名	子育て環境の充実		

【事業目的・概要】

子育て世代が望む時代にあった子育てのしやすい環境を整える。

【事業内容（P）】

- ① 子育て世代の誰もが望む集いやすい環境の整備
- ② 相談（発達、育児等）及び保育機能等（保育環境、遊びの場の提供等）の充実
- ③ 子ども達に係る医療費の負担軽減

【事業費（D）】

①負担金補助及び交付金	・施設型給付費	183,022,920
②子育て支援センター運営事業費	・子育て支援センター運営費	5,229,303
③扶助費	・高校生以下医療費	13,147,461
④その他	・一時預かり ほか	6,341,410

(単位:円)

事業年度	予算額	事業費（実績）	地方創生推進交付金充当額
R2	182,762,000	169,258,632	
R3	170,212,568	168,829,261	
R4	170,041,000	170,136,111	
R5	195,698,000	193,397,182	
R6	212,998,000	207,741,094	
合計	931,711,568	909,362,280	0

【効果検証（C）】

① 重要業績評価指標

指 標	事業年度	指標値	実績
子育てしやすい満足度（%）	R2	50	26.5
	R3		
	R4		
	R5		
	R6		

② 関連施策・事業の実施状況（どのような取組をしたか具体的に記入）

・就学前児童の預かり事業や、認定こども園・幼稚園による取組。子育て支援センターでの子育て世帯のニーズの把握や悩みの相談子育て世帯への訪問等、子育て支援事業を推進。

③ 事業の成果及び評価（実績がない場合はその原因など）

- ・待機児童はおらず、認定こども園・幼稚園の取組により幼児期の教育等に対する保護者の需要が満たされていると考える。
- ・高校生以下医療費無償制度の未申請者はおらず、子育て世帯の経済的な負担軽減につながっている。
- ・子どもたちの医療費無償制度の対象を18歳到達年度末まで拡大し、経済的な支援を拡充。

【今後必要な取組・方向性（A）】

- ・児童福祉施設の適切な指導運営管理の継続した体制の推進
- ・子どもたちの医療費無償制度による子育て世帯の経済的支援の継続

基本目標No.4 住み続けたいと思うまちを創生する。

分類

①高等学校魅力向上事業

施策・事業名 **地元高校への進学者確保**

【事業目的・概要】

地元高等学校の魅力向上と通学しやすい環境作りに努め、町内外からの進学者を確保する。

【事業内容（P）】

- ① 高等学校の魅力化支援
- ② 高等学校進学に係る経済的支援
- ③ 奨学金制度の拡充
- ④ 道内外中学校等に向けた宣伝PR

【事業費（D）】

R6当初予算

R6実績

① 羽幌高等学校魅力化支援事業	4,000,000	3,341,292
② 羽幌高等学校進学に係る経済的支援	13,619,000	10,854,687
③ 天売高校生徒募集事業	8,464,000	8,051,028

※協力隊に係る費用は除く

(単位:円)

事業年度	予算額	事業費（実績）	地方創生推進交付金充当額
R2	23,160,000	15,446,848	
R3	22,441,000	18,421,860	
R4	26,059,000	19,474,218	
R5	26,941,000	24,091,057	
R6	26,083,000	22,247,007	
合計	124,684,000	99,680,990	0

【効果検証（C）】

① 重要業績評価指標

指標	事業年度	指標値	実績
町内中学生の町内高校への進学率（%）	R2	80	78.26%
	R3		61.36%
	R4		77.27%
	R5		63.83%
	R6		63.64%

② 関連施策・事業の実施状況（どのような取組をしたか具体的に記入）

羽幌高等学校魅力化支援事業及び羽幌高等学校進学に係る経済的支援については、部活動の運営等の補助、町外生徒の通学定期券の購入補助、入学にかかる経費の一部補助、将来に有益な資格取得に係る費用の補助等を実施。

天売高校生徒募集事業は、札幌市等への学校訪問、パンフレット等の作成、オープンスクールの開催等を実施。また、天売高等学校に島外から入学した生徒の受け入れ拠点となる学生寮の適正な維持管理を実施。

③ 事業の成果及び評価（実績がない場合はその原因など）

羽幌高等学校魅力支援事業、羽幌高等学校進学に係る経済的支援は、羽幌町内及び近隣町村の生徒が羽幌高校を選択する状況に寄与し、生徒数確保につながっている。天売高校生徒募集事業については、平成30年度から寮を開設し、令和4年度より島内旅館を下宿としているほか、1世帯が移住するなど、島外入学者の確保に寄与している。

【今後必要な取組・方向性（A）】

- ・今後も地元高校と連携し、継続した事業実施による魅力の向上に努めていく。
- ・今後も継続したPR活動と地元との連携により、入学生徒の確保と受入体制の構築に努めていく。

基本目標No.4 住み続けたいと思うまちを創生する。

分類

②学校外活動充実事業

施策・事業名

児童生徒の学ぶ機会の充実

【事業目的・概要】

学習や体験学習の場の充実及び拡大を図り、魅力ある学びを提供するとともに郷土愛を育む校外活動を促進する。

【事業内容 (P)】

- ① 子ども自然教室事業

【事業費 (D)】

・子ども自然教室事業

(単位:円)

事業年度	予算額	事業費 (実績)	地方創生推進交付金充当額
R2	374,000	331,596	
R3	315,000	118,706	
R4	393,000	165,313	
R5	404,000	157,853	
R6	386,000	261,487	
合計	1,872,000	1,034,955	0

【効果検証 (C)】

- ① 重要業績評価指標

指 標	事業年度	指標値	実績
自然教室平均参加率 (%)	R2		53
	R3		72
	R4		52
	R5		50
	R6		65

- ② 関連施策・事業の実施状況 (どのような取組をしたか具体的に記入)

サイクリング、旭山動物園見学、キャンプ体験、工作活動、クリスマスツリー飾り、ワカサギ釣り体験などの体験活動を実施した。

- ③ 事業の成果及び評価 (実績がない場合はその原因など)

令和6年度の子ども自然教室への参加者数45名となり、昨年度から12名の増加となった。また平均参加率についても前年度同様に指標値より低い数字となっており、これは参加児童がスポーツ少年団やダンスサークル等にも在籍し、活動日が事業実施日と重なったことにより参加者数が減少したと考えられる。事業内容の評価としては子どもたちの自然や郷土等に対する学習や体験活動の場が充実しており、また、異学年の児童と一緒に活動していることから、児童の豊かな情操や人間性を養い、郷土を愛する心を育てている。

【今後必要な取組・方向性 (A)】

今後も自然を親しむ機会を望む児童及び保護者の要求を満たし、児童・保護者の希望を把握しつつ、適切な事業を展開していく必要がある。

基本目標No.4 住み続けたいと思ふまちを創生する。

分類 ③人材育成事業

施策・事業名 **人づくり事業**

【事業目的・概要】

地域活動等に従事する町民の中から将来のまちづくりを担う人材を育成するとともに、地域医療を支え志す将来の医療従事者（人材）を育成する。

【事業内容（P）】

- ① 研修活動等に係る支援（人づくり事業）
- ② 地域医療に従事する看護師等の育成（助産師・看護師確保対策事業）

【事業費（D）】

助産師・看護師修学資金貸付金	1,800,000円
人づくり事業補助金	1,309,900円

(単位:円)

事業年度	予算額	事業費（実績）	地方創生推進交付金充当額
R2	4,500,000	3,092,000	0
R3	5,700,000	3,565,000	0
R4	5,055,000	3,940,000	0
R5	4,455,000	3,909,352	0
R6	3,945,000	3,109,900	0
合計	23,655,000	17,616,252	0

【効果検証（C）】

① 重要業績評価指標

指標	補助決定件数（地域活動）		貸付決定件数（医療従事）	
	指標値（R2～R6）	実績	指標値（R2～R6）	実績
R2	/	2	/	5
R3		4		6
R4		7		6
R5		10		5
R6		5		3
合計		50		28

② 関連施策・事業の実施状況（どのような取組をしたか具体的に記入）

（地域活動）申請案件の審査に係る人づくり委員会は、3回開催（書面含む。）

（医療従事）将来において羽幌町内の医療機関に助産師又は看護師として勤務しようとする者に対し、その修学に必要な資金を貸し付けることにより、助産師及び看護師を育成するとともに、町内医療機関における人員の確保及び充実を図る。

③ 事業の成果及び評価（実績がない場合はその原因など）

（地域活動）補助実績は5件。生徒や指導者のモチベーションアップや指導力向上のための教室開催や幅広い年齢層の町民が参加できる教室開催のための資格取得、青少年等の健康増進を図る冬のイベント実施に対して補助した。

（医療従事）令和6年度は貸付対象者のうち卒業生2名が看護師として北海道立羽幌病院に就職した。今後も人員の確保及び充実が期待できる。

【今後必要な取組・方向性（A）】

（地域活動）まちづくりのための人材育成を目的に地域活動を積極的に行う個人・団体に対し継続して支援していく。ただし、時代の変化によりジャンル、趣味・教養が多様化しており、単なる個人のスキルアップ、キャリアアップにつながるものの申請が多く散見されていたことから、公平性を保つため条例を改正し資格取得の対象範囲の見直しを行った。今後も情勢やニーズを捉えながらより良い制度設計を図っていきたい。

（医療従事）助産師・看護師修学資金貸付金については、今後も町内医療機関の看護師数の動向を確認しながら、修学資金の貸付を継続して実施する。

基本目標No.4 住み続けたいと思うまちを創生する。

分類 ④福祉環境充実事業

施策・事業名 **介護向け人材の育成**

【事業目的・概要】

高齢社会に向けた人材の育成及び確保に努める。

【事業内容 (P)】

- ① 高校生と介護職員の交流事業
- ② 介護知識向上のための研修会等の開催
- ③ 介護職員の給与等の底上げの実施

【事業費 (D)】

介護福祉士 130,000円×2名=260,000円
 主任ケアマネ研修 35,000円×0名= 0円
 介護支援専門員更新研修 35,000円×0名= 0円

(単位:円)

事業年度	予算額	事業費 (実績)	地方創生推進交付金充当額
R2	1,897,000	390,000	
R3	1,387,000	640,000	
R4	1,283,000	580,000	
R5	1,283,000	235,000	
R6	1,283,000	260,000	
合計	7,133,000	2,105,000	0

【効果検証 (C)】

① 重要業績評価指標

指 標	事業年度	指標値	実績
交流会及び研修会実施回数	R2		0
	R3		0
	R4		0
	R5		0
	R6		2

② 関連施策・事業の実施状況 (どのような取組をしたか具体的に記入)

研修会の実施状況 0回

研修会補助

事業実績 介護福祉士資格取得研修 (R2 1名、R3 3名、R4 2名、R5 1名、R6 2名)

介護初任者研修 (R2 1名、R3 2名、R4 1名、R5 0名、R6 0名)

支援専門員更新 (R2 5名、R3 4名、R4 0名、R5 2名、R6 0名)

支援専門員新規 (R2 0名、R3 0名、R4 2名、R5 0名、R6 0名)

主任ケアマネ研修 (R2 0名、R3 0名、R4 0名、R5 1名、R6 0名)

③ 事業の成果及び評価 (実績がない場合はその原因など)

町主催の研修会は、地域ニーズがないため実施していないが、他で実施している研修への補助を実施している。

【今後必要な取組・方向性 (A)】

・各事業所、病院及び高等学校への周知を行う。

基本目標No.4 住み続けたいと思ふまちを創生する。

分類 ④福祉環境充実事業

施策・事業名 **高齢者向け生きがい対策**

【事業目的・概要】

高齢者の居場所、活躍の場の確保に努める。

【事業内容（P）】

① 老人クラブ活動事業

【事業費（D）】

① 負担金補助及び交付金 老人クラブ連合会補助

(単位:円)

事業年度	予算額	事業費（実績）	地方創生推進交付金充当額
R2	1,332,000	789,708	
R3	1,307,000	817,978	
R4	1,233,000	664,770	
R5	1,162,000	932,988	
R6	966,000	849,669	
合計	6,000,000	4,055,113	0

【効果検証（C）】

① 重要業績評価指標

指 標	事業年度	指標値	実績
老人クラブ組織数	R2	9	9
	R3		7
	R4		6
	R5		6
	R6		6
		9	

② 関連施策・事業の実施状況（どのような取組をしたか具体的に記入）

高齢者が集い、軽スポーツや研修旅行などで生きがいや健康づくりに活発に取り組む老人クラブ活動を支援することで、明るい長寿社会づくりを図る。

③ 事業の成果及び評価（実績がない場合はその原因など）

過去数年間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止していた事業を再開したことにより、高齢者の地域活動への参加につなげることができた。

【今後必要な取組・方向性（A）】

今後も老人クラブ活動の支援を継続し、高齢者の居場所・活躍の場の確保を図る。

基本目標No.4 住み続けたいと思うまちを創生する。

分類

④福祉環境充実事業

施策・事業名 障がい者及び高齢者等への支援

【事業目的・概要】

- ① 福祉ハイヤー料金助成事業

【事業内容 (P)】

- ① 下肢等の障がいにより歩行が困難な者や当該年度中に80歳に到達する者へ福祉ハイヤー利用券を交付する。

【事業費 (D)】

- ①福祉ハイヤー利用券印刷
-
- ②福祉ハイヤー事務手数料
-
- ③福祉ハイヤー借上料

(単位:円)

事業年度	予算額	事業費 (実績)	地方創生推進交付金充当額
R2	6,778,000	3,978,280	
R3	6,378,730	4,279,640	
R4	6,932,000	4,640,220	
R5	8,128,000	6,022,530	
R6	10,576,000	10,569,500	
合計	38,792,730	29,490,170	0

【効果検証 (C)】

- ① 重要業績評価指標

指 標	事業年度	指標値 (R2~R6)	実績
対象者利用数(R2~R6平均)	R2	70	39.9
	R3		43.0
	R4		45.8
	R5		51.0
	R6		48.1
	合計		45.6

- ② 関連施策・事業の実施状況 (どのような取組をしたか具体的に記入)

従来の1乗車で1枚の利用から複数枚の利用可としたことで、利便性が上がり利用率も上昇していると考え。

- ③ 事業の成果及び評価 (実績がない場合はその原因など)

実績 (利用枚数/対象枚数) は上がっているものの、指標値である70%まで到達するよう、事業の効果的な運営について検討していく。

【今後必要な取組・方向性 (A)】

今後も継続した事業を行い、障がい者等の生活支援の一助として実施していく。